

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。

世界を恐怖に陥れたタリバン政権もあっけなく崩壊し、今や世界各国によるアフガン支援とアフガン暫定政権によるアフガニスタンの再建が世界の関心事となつてまいりました。

それと共に、アルカイダの支援組織が存在するといわれているソマリアに世界の人々の目が注がれようとしています。

「次の標的はソマリアか」と題した新聞記事が掲載されたり、27日にはNHKでソマリアの深刻な現状が取り上げられていました。

また、他の情報では、国連代表団が首都モガデシュを訪問し市民多数の歓迎を受けたこと、昨年11月アルカイダに関係する会社が閉鎖されソマリアの人々は不便を受けていたが、インターネットサービス会社と銀行が新しく開設されたとのこと。

ソマリアもアフガニスタンと同じように、世界の人々の支援の中で、一日も早く国家再建がなされる事を願うばかりであります。

ソマリアの子供達に英語の絵本を贈りました。



「ソマリアの子供たちのために英語の絵本を集めている」山梨県大月市の小林美和子さんの活動が、「市の広報」や「朝日新聞山梨版」「山梨日日新聞」でも取り上げられ、約80冊の絵本が集まりました。他に神奈川県の小田原支部・逗子支部からも約20冊が届けられ、1月23日第一便で100冊が北ソマリアに向けて発送されました。ソマリアとは国交がないため、ジブチ経由で北ソマリアに届けられます。これは北ソマリアへの最初のプロジェクトです。ソマリアは、北は元イギリス領、南は元イタリア領でした。

仙台でもたくさんの英語の絵本が集っています。今後もこのプロジェクトを継続しますので、ご協力ください。



編集後記

昨年末から本年初めにかけて、南米某国を訪問した。その国は、政治は安定しているがあまり豊かではない。空港には靴磨きの子供たちが多数いた。ケニヤでも見かけなかった光景である。首都周辺の交通手段は車・バスであるが、遠方の人々の交通手段は船であり、200キロ、300キロの移動に20時間余りを要する。飛行機・新幹線が当たり前の私にはもどかしく、時間がゆったりと流れている。別世界にタイムスリップしたようでもある。貧しさから脱却するためにどうすべきか。重要なのはやはり教育である。しかし、その国の為政者には、その姿勢は見られない。

先日のアフガン復興支援会議で、アフガンのカルザイ議長は、「アフガン国民は、お金より教育を待っている」という趣旨の事を述べていたが、国家建設には教育が重要である。ソマリアの未来も青少年の教育にかかっている。